



東京武蔵村山ロータリークラブ No. 2171



# Weekly Report

第2172回例会 2017年4月19日 国際ロータリー第2580地区  
2016～17年度RI会長 ジョンF.ジャーム 2580地区多摩分区ガバナー 上山 昭治 第45代クラブ会長 内野 均

東京武蔵村山 RC テーマ 「一期一会・親睦こそクラブの活力源」 友人を作り充実したロータリーライフを

## 本日の例会

次年度事業計画  
～ 夜間炉辺 ～  
平成の間にて

## 2016～17年度 RI テーマ



人類に  
奉仕する  
ロータリー

## 次回の例会

卓 話

【第2171回例会週報】

司会 佐藤 貢 会場運営委員長

点 鐘 内野 均 会長

幹事報告 嶋田 哲男 幹事

## 斉 唱

○田無けやき RC が2017年3月31日付で RI から脱会  
(当地区クラブ東京58沖縄11の69クラブとなりました)

それでこそロータリー  
ソングリーダー  
篠原 幸宏 会員



## 委員会報告

## 出席報告

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
33名	23名	81.25%	なし

- 事前メーキャップ  
比留間 孝司 会員 (東京 RC)  
遠田 努 会員 ( " )  
金井 一三 会員 ( " )

- 出席免除会員  
比留間 市郎 会員 (入院)



地区青少年委員会 田中 副委員長 より  
先日 東京池袋 RC 青少年交換委員会並木委  
員長より武蔵村山 RC のクラブについて、  
お褒めの言葉を頂きました。  
例会出席はそれぞれの職場の仕事着で参加  
できたりする等、和気あいあいとしたクラ  
ブ内の雰囲気をつくり親睦をはかれてお  
り大変素晴らしいクラブとお褒めの言葉を  
頂きました。これからも誇りを持って活動  
していければと思います。

## 次年度 新海 幹事 より

- 地区研修協議会のお知らせ  
日時：平成28年4月17日(月) 11:30  
場所：JR新宿駅 西口改札集合  
\* 小田急ハルク1階 天ぷら「天兼」で昼食  
後会場へ(昼食会場へ直接行く方は連絡をお願いします)  
～地区研修協議会～  
\* 日 時 2017年4月17日(月)  
登 録 13:00～  
本会議(一部) 13:30～14:30  
部門別会議 14:45～16:15  
本会議(二部) 16:30～18:00  
懇親会 18:10～19:30  
\* 会 場 ハイアットリージェンシー東京  
新宿区西新宿2-7-2  
TEL 03-3348-1234  
\* 急用等は、新海携帯(090-3518-9214)  
へお願い致します。

会務報告 内野 均 会長

- ロータリー財団100周年記念シンポジウムの  
DVDを日本ロータリー学友会より頂きました。
- 藤野会員にポールハリスフェローPINが届  
いています。(マルチプル2回目)
- ローターアクトより第48回地区年次大会の  
ご案内  
・テーマ「わっ!!」  
(感動をお届けできるプログラム)  
・6月3日(土) 12:00登録受付  
タワーホール船橋(登録切5月2日(火))



「次年度会長方針」

波多野 晃夫 次年度会長

2017～18年度クラブテーマ

「共に学び、そして実践しよう」

私たちは、縁あってロータリークラブで出会い、交流を深めながら会員相互の理解と親睦を深めています。

こうした縁や絆を大切にしながら、さまざまな場面を通して、共に学びクラブを活性化させ、地域の、そして社会の要請に応えた奉仕活動を、目に見える形で実践していきましょう。

活動方針

- 1 共に学び、ロータリーについての理解を深める。
- 2 全員参加で、例会を楽しく、有意義なものにする。
- 3 組織基盤を強化する。
- 4 地域・社会と調和した奉仕活動を、目に見える形で実践する。

次年度のクラブ運営方針について、ご説明いたします。

まず、イアン ライズリー I R 会長のテーマ「ロータリー：変化をもたらす」。また、吉田雅俊ガバナーのキーワードの「感動と調和」、そして行動指針である「研修と実践」の趣旨を踏まえて、次のように定めたいと思います。

まず、テーマは「共に学び、そして実践しよう」です。吉田ガバナーの行動指針を、そのままパクった感じになってしまいましたが、思うところは同じだということだと思います。

私たちは、入会のきっかけは様々ですが、縁あってこうしてロータリークラブで出会い、日々交流を深めながら会員相互の理解と親睦を深めています。

一方、私たちを取り巻く社会情勢や環境は、めまぐるしいスピードで変化しており、人々の価値観も、高度に多様化、複雑化しつつあります。

また、2580地区においても、クラブ数、会員数の現象等、ロータリーの停滞現象がみられています。

こうした中で、私たちはもう一度ロータリーとは何かを見つめ直し、そして地域社会の、そして社会の要請にかなった奉仕活動を実践していくことが重要だと考えます。

そういうスタンスで、1年間クラブ運営に努めてまいります。輝かしいロータリークラブにするために。

活動方針としては

まず1点目に、共に学び合い、ロータリーについての理解を深めていきます。

ロータリーは親睦と奉仕が基本だとされていますが、その内容については、分かりにくいこともたくさんあります。

ロータリーを正しく理解していけば、職務を果たしていく上での不安もなくなり、負担が楽しさに変わっていくかもしれません。知ること、理解することは、ロータリー生活を楽しむ基本だと思ってください。

この点については、田中研修リーダーの活躍にも大いに期待しているところです。

第2に、例会の充実と出席率の向上を目指すということです。

例会は、楽しく、そして有意義なものであれば、結果的に出席率も下がってしまいます。中身が大切ということで、例会の充実に努めていきます。他方では、例会出席は会員の基本的な義務だ、ということをよく認識していただきたいと思います。都合の悪いときは必ずメーキャップをするようにしてほしいですね。福生クラブのように、で、メーキャップをしていると、メーキャップよりも例会に出席するほうが楽だと思うようになってくると思います。

第3は、会員の退会防止と新規会員の増強に努めるということです。

研修等でロータリーを正しく理解してもらい、つまらないからという理由での退会を防止するとともに、新規会員の獲得に努めます。少なくとも3人は増強したい。

4点目は、社会の要請に応えた奉仕活動を、目に見える形で実践します。

吉田ガバナーというところの「感動と調和」の観点から、五大奉仕活動、米山奨学、ロータリー財団活動を行っていきたいと思います。

いずれにいたしましても、奉仕活動は、各委員会、そして全会員の皆様のご協力が必要で、1歩も前には進みません。

微力な会長ではありますが、1年間どうぞよろしく願いいたします。



ニコニコBOX (田中 伸彦 親睦委員長)

内野均会長・嶋田哲男幹事 波多野晃夫次年度会長 本日の会長方針発表よろしく願いいたします。

木内敬三九会員 妻の誕生日祝っていただきありがとうございました。

原田友義会員 おかげさまで20年皆出席することが出来ました。これからもがんばります。



今回計 13,000円  
累計 1,186,000円